

私は北海道大学在籍中に、授業を受けた学部学生として、セミナーに参加した大学院生として、また、核データの開発メンバーとして、大西さんに大変お世話になりました。私の専門分野は天文学ですが、あらためて思いを巡らせると、大西さんとは色々な面で関わりがあり、私の研究者人生に影響があったのだと気がつきました。

学部の授業(物理数学だったと記憶していますが)を受けてからの大西さんに対する印象は、一貫して「頭の切れる人」でした。特に、原子核反応データベースの運営会議の場では、何でもてきぱきとこなして、プロジェクトを先に進めていく姿が印象に残っています。当時から、研究者たる者これくらいの思考の速さについて行けなくてはならない、という勝手な基準が自分の中でできていたように思います(自分はまだその域に達していませんが)。

北大を離れてからはお目にかかる機会はぐっと減ってしまい、研究会で少し挨拶をする程度でした。それでも、私が研究職に就くことができたかを気にかけていただいたと後ほど知り、ありがたく感じています。現職に就いてからご報告することができませんでしたが、大西さんから学んだ精神を糧に研鑽を積みみたいと思います。大西さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

**須田 拓馬** (東京工科大学)